【子どもの成長や学習の土台は、個々の自由遊びから始まります】

幼児期の遊びは、ただ楽しい時間ではなく、
子どもが自分で考え、工夫し、試す学びの場です。

たとえば、

ブロック遊び	→ 「どう積めば倒れないか？」を考える力や空間認識力
ごっこ遊び	→ 役割を決めてやりとりする中での社会性や言葉の力
砂や水での遊び	→ 自然や物の変化に気づく観察力や探究心
お友だちの真似をする	→認知スキルの獲得、思考力の芽生え
気の合う友達と遊ぶ	→協調性や社会規範の芽生え

自由遊びの中で伸び伸び遊ぶと、子どもは自発的に「やってみたい」「どうしたらうまくいく？」と考え、失敗しても再挑戦します。

この体験を繰り返すことで、協調性・自己表現力・問題解決力など、学習の土台となる力が育っていきます。